安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、データの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

警告	この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△ ⃠ ● の中や近くに具体的な指示事項が描かれています。

△	警告・注意を促す内容を示します。（例：感電注意）
⃠	してはいけない事項（禁止事項）を示します。（例：分解禁止）
●	しなければならない行為を示します。（例：プラグをコンセントから抜く）

警告

強制 **電源ケーブルは、必ず本製品付属ものを使用してください。**
付属品以外の電源ケーブルでは、電圧や端子の極性が異なることがあるため、発煙や発火、本製品の故障の原因となる恐れがあります。

分解禁止 **本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。**
火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

電源プラグを抜く **煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く **本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりした場合は、すぐにパソコンおよび周辺機器の電源スイッチをOFFにし、電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

禁止 **本体やケーブルの上に物を置かないでください。**
故障や火災の原因となることがあります。

禁止 **故障した状態（画面に何も表示されないなど）で使用しないでください。**
そのまま使用すると火災や感電の恐れがあります。

強制 **ケーブル類を抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。**
ケーブル部分を持って引き抜くと感電や断線の原因となります。

電源プラグを抜く **落雷による事故防止のため、近くで雷が発生したときは電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。**

電源プラグを抜く **本製品の取り付け、取り外しをするときは、本製品およびパソコン、周辺機器の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。**
電源ケーブルがACコンセントに接続されたまま取り付け、取り外しを行うと、故障や感電の原因となります。

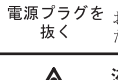
注意

電源プラグを抜く **液体や異物などが内部に入ったら、すぐに本製品の電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。**
そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社サポートセンターまたはお買い求めの販売店にご相談ください。

強制 **小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取扱方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。**

強制 **電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。**
さわってけがをする恐れがあります。

強制 **静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れ、身体の静電気を取り除くようにしてください。**
人体などからの静電気は、本製品を破損させる恐れがあります。

禁止 **ゴムやビニル製品を長時間接触させておかないでください。**
本製品の表面が変質したり、はげたり、ゴムやビニルが付着してとれなくなることがあります。

液晶ディスプレイについて

警告 **万一、液晶パネルが破損し、内部の液状の物質が皮膚に付着したときは、流水で15分以上洗浄し、念のため医師に相談することをおすすめします。目に入った場合は、流水で15分以上洗浄した後、必ず医師に相談してください。液晶パネル内部には、刺激性物質が含まれています。**

使用するとき

注意 **シャープペンシルや鉛筆など先のとがったものに注意してください。**
液晶パネルに先のとがったものや硬いものを当てたりこすったりすると、傷がついたり割れたりすることがあります。また、長い爪も液晶パネルの損傷の原因となりますので、注意してください。

強制 **水分はすぐに拭き取ってください。**
水滴や唾液などの水分が付着したまま長時間放置しないでください。液晶パネルの変形や退色の原因となります。

注意 **長時間、連続してディスプレイを見続けないでください。目の疲労防止のため、適度に休憩を取りながら使用してください。**

禁止 **液晶パネルの表面は傷がつきやすいため、むやみに触れたり、こすったり、たたいたりしないでください。**

禁止 **パソコンの電源スイッチがONになったままの状態で、ディスプレイケーブルのコネクタを抜き差ししないでください。また、使用中はコネクタが抜けないように、必ずコネクタのネジで固定してください。**

お手入れ

禁止 **液晶パネルを乾拭きしないでください。**
液晶パネルが汚れたときは、柔らかい布やガーゼに無水アルコール(イソプロピルアルコール)を含ませて、軽く拭いてください。

禁止 **溶剤を使用しないでください。**
液晶パネルをベンジンやシンナーなどの溶剤や水などで拭かないでください。液晶パネルが溶けたり、退色の原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際はパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。**
お手入れの前に、必ず本製品を接続したパソコンの電源スイッチをOFFにし、ACコンセントから電源プラグを抜いてください。感電の危険があります。

注意 **液晶パネルに無理な力が加わらないように注意してください。**
液晶パネルに圧力が加わると、その部分の表示が波打ちます。これは、ガラス板間に注入した液晶の配光が乱れるためです。強い圧力をかけると、乱れた配光が元に復帰しない場合があります。

使用環境

注意 **直射日光、高温・多湿に注意してください。**
直射日光が当たる場所や周囲の温度が35℃を超えるような場所、極端に湿度が高い場所では使用しないでください。液晶パネルの劣化や表面のはがれ、気泡が発生するなどの原因となります。

強制 **使用条件を守って使ってください。**
温度(10～35℃)・湿度(結露なきこと)の使用条件内でご使用ください。使用条件外で使用すると、寿命や劣化を早めたり、表示品質の劣化(しみ、汚れなど)の原因となります。

注意 **低温に注意してください。**
室温が10℃以下になる場所で使用すると、表示品質が低下したり、気泡が発生するなどの原因となります。また、液晶の特性が変化して元に戻らなくなることがあります。

注意 **急激な温度変化に注意してください。**
動作中の急激な温度変化は、故障の原因となります。

禁止 **次の場所には設置しないでください。**
感電、火災の原因となったり、故障の原因となります。
・強い磁界が発生するところ................故障の原因となります。
・静電気が発生するところ..................故障の原因となります。
・振動が発生するところ.....................けが、故障、破損の原因となります。
・不安定なところ..........................転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
・火気の周辺、または熱気のこもるところ....故障や変形の原因となります。
・漏電の危険があるところ..................故障や感電の原因となります。

長期間使用しないとき

強制 **直射日光が当たらない暗い場所に保管してください。**
長期間使用しないときは梱包し、直射日光や蛍光灯の光が当たらない暗い場所に保管してください。また、低温・高温、多湿の場所は避けてください。

使用済み液晶ディスプレイの回収・リサイクルについて
2003年10月1日施行の「資源有効利用促進法」に基づき、弊社ではご家庭で不要になった弊社製液晶ディスプレイの回収・再資源化を実施しております。
詳しくは、弊社サポート＆サービスホームページ **86886.jp** をご参照ください。

この冊子は古紙配合率100%の再生紙を使用しています。

PRINTED WITH SOY INK ™
Trademark of American Soybean Association
大豆油を原材料として使用した、環境にやさしいインキを使用しています。

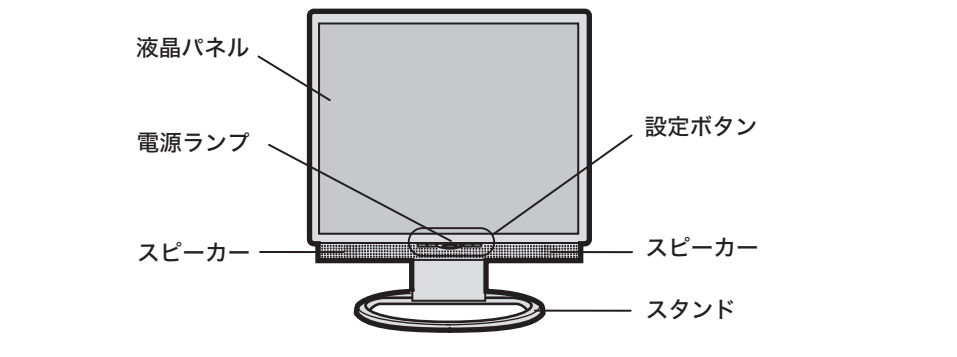
はじめにお読みください
2006年2月16日 第2版発行　発行 株式会社バッファロー

FTD-W2023ADS マニュアル　はじめにお読みください

このたびは、本製品をご利用いただき、誠にありがとうございます。本製品を正しく使用するために、はじめにこのマニュアルをお読みください。お読みになった後は、大切に保管してください。

ステップ1 箱に入っているものを確認しよう

万がいち、不足しているものがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

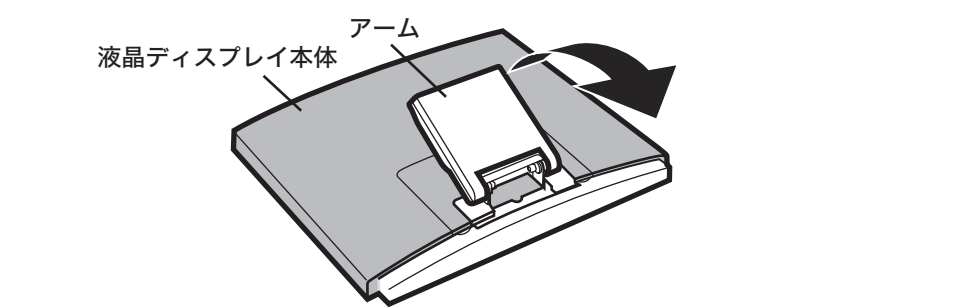
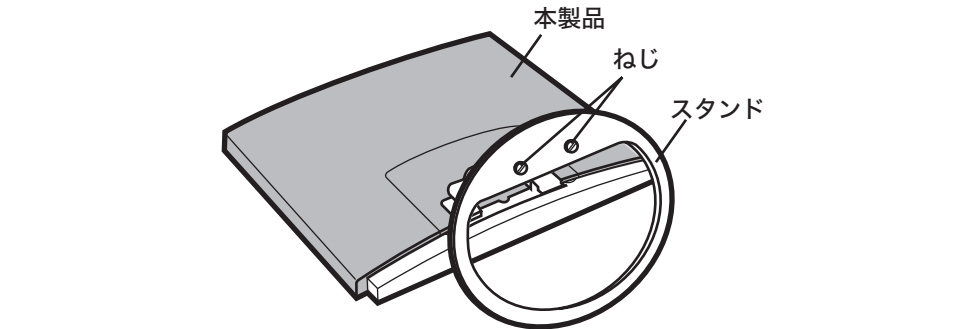
□**液晶ディスプレイ本体..................................1台**

□**スタンド..1個**
□**D-Sub15ディスプレイケーブル.......1本**
□**ステレオケーブル(φ3.5mmジャック)...1本**
☑**はじめにお読みください(本紙)...........1枚**
□**ACコード...1本**
□**DVIディスプレイケーブル.................1本**
□**ユーティリティCD............................1枚**
□**保証書、ユーザー登録はがき.............1枚**

※ユーティリティCDには、本製品の電子マニュアルやプログラムが収録されています。詳しくは、電子マニュアルを参照してください。
※ユーザー登録はがきは保証書を切り離した後、必要事項を記入の上、必ず弊社までご返送ください。また、切り離した保証書は大切に保管してください。
※追加情報が別紙で添付されている場合は、必ず参照してください。

ステップ2 スタンドを取り付けよう

本製品は、出荷時にスタンドがはずれている状態で梱包されています。ご使用になる前に、本製品にスタンドを取り付けてください。

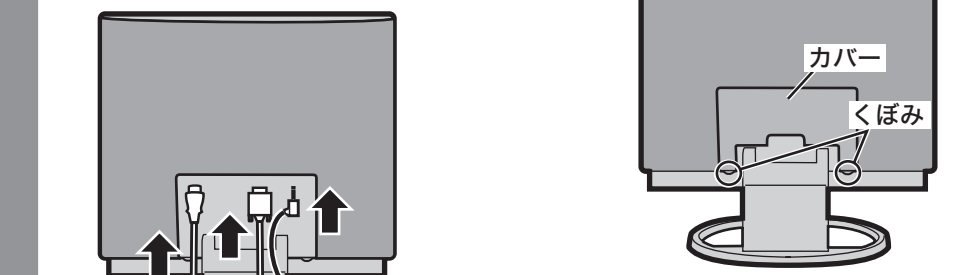
注意
・本製品を机の上などの安定した台の上に置いて作業してください。
・液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。

液晶ディスプレイ本体に折りたたまれているアームを図のように引き出します。

スタンドうら面のねじ(2箇所)をマイナスドライバーで固定します。

メモ　スタンドの取り外し
本製品を箱に入れるときなど、スタンドを取り外す必要がある場合は、スタンドを固定しているねじ(2箇所)をマイナスドライバーで取り外し、アームを折りたたんでください。
・本製品を机などの安定した台の上に置いて作業してください。
・液晶パネルが傷つかないよう、台の上に柔らかい布などを敷いてください。
・スタンドの取り外しは、必要な場合(購入時の箱に入れて輸送する場合など)のみ行ってください。

右上へつづく

ステップ3 パソコンに取り付けよう

注意
作業を行う前にパソコンの電源スイッチをOFFにしてください。

❶ ディスプレイ背面のカバーを取り外します(図のくぼみに指を入れると外し易いです)。

❷ ケーブル類をディスプレイに取り付けます。
・付属のステレオケーブルを本製品とパソコンに接続します。
・付属のディスプレイケーブル(D-sub15またはDVI)でパソコンと本製品を接続します。
※パソコンのコネクタがD-sub15ピン/DVIでないときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。
・付属のACコードを本製品に接続し、プラグをコンセントに差し込みます。

注意
感電防止および電磁界輻射低減のため、ACコードに付いているアース線は必ず接地してください。
アース線は電源プラグをつなぐ前に接地し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。
また、アース線がコンセントや他の電極に接触しないよう注意してください。故障の原因となります。

メモ
●正面から見たときケーブルが隠れるよう図のように、カバーを元通りに取り付けてケーブルを束ねることができます。
●電源ONのとき本製品の電源ランプが緑色に点灯します。
次の状態のときは、電源ランプがオレンジ色に点灯します。画像は表示されません。
・パソコンから画像信号が入力されていないとき
・本製品が対応していない画像信号が入力されているとき
・サスペンドモードになっているとき
サスペンドモードは、キーを押したりマウスを動かすことで解除できます。

本製品の電源をONにしてからパソコンの電源スイッチをONにします。
以上で接続は完了です。

設定ボタンについて

液晶ディスプレイ前面の設定ボタンには次のような機能が割り当てられています。

シンボル	機能
<	・OSDメニュー画面でカーソルを左方向または上方向に移動します。 ・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値下降)を行います。 ・OSDメニューが開いていないときに押すと、ECOモードへの切り替えができます。 MAX(最大輝度)→ECO(省電力輝度)→USER(OSDメニュー基本設定輝度)
>	・OSDメニュー画面でカーソルを右方向または下方向に移動します。 ・OSDサブメニューで数値設定の変更(数値上昇)を行います。 ・OSDメニューが開いていないときに押すと、消音への切り替えを行います。
⏻	・電源のON/OFFを行います。
MENU	・OSDメニューを開きます。 ・OSDメインメニューで選択されたOSDサブメニューを開きます。
AUTO	・OSDメニューを閉じます。 ・OSDサブメニューからメインメニューへ戻ります。 ・OSDメニューが開いていないとき、自動調整をします。

※詳細な設定ができるOSD(オンスクリーンディスプレイ)メニューについて詳しくは、ユーティリティCDに収録されている電子マニュアル(PDFファイル)を参照してください。

次ページへつづく

ステップ4 インストールしよう

次の手順で本製品のハードウェア情報を登録してください。

WindowsXPをお使いの場合

1. WindowsXPを起動します。
2. ［コントロール パネル］を開きます。［クラシック表示に切り替える］をクリックし、［画面］アイコンをダブルクリックします。
3. ［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。
4. ［モニタ］タブをクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。
5. ［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］ボタンをクリックします。
   ※お使いのパソコンによっては、「ソフトウェア検索のため、Windows Updateに接続しますか？」と表示されることがあります。このようなときは、[いいえ、今回は接続しません]を選択し、[次へ]をクリックしてください。
6. ［ハードウェアの更新ウィザードの開始］画面が表示されたら、［一覧または特定の場所からインストールする］をクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。
7. ［検索しないでインストールするドライバを選択する］をクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。
8. 付属のユーティリティCDをパソコンにセットします。
9. ［ディスク使用］をクリックします。
10. ［製造元のファイルのコピー元］にユーティリティCDをセットしたドライブのドライブ名（ 例 E:￥ ）を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
11. ［モデル］に表示されたモニター名から「BUFFALO INC. ＜製品名＞」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。
   ＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります。
12. ［このハードウェア…（中略）…Windowsロゴテストに合格していません］というメッセージが表示されたら、［続行］ボタンをクリックします。
   ※このドライバの動作テストは弊社にて行っています。2005年10月現在、このドライバに対してマイクロソフト社のロゴテストは行われていませんが、製品は正常に動作します。
13. ［完了］ボタンをクリックします。
14. ［閉じる］ボタンをクリックし、［OK］ボタンをクリックします。
15. [OK］ボタンをクリックし、［画面のプロパティ］ウィンドウを閉じます。

以上でインストールは完了です。

Windows2000を使用しているときをお使いの場合

1. Windows2000を起動し、administratorでログオンします。
2. ［コントロール パネル］を開き、［画面］アイコンをダブルクリックします。
3. ［設定］タブをクリックし、［詳細］ボタンをクリックします。
4. ［モニタ］タブをクリックし、［プロパティ］ボタンをクリックします。
5. ［ドライバ］タブをクリックし、［ドライバの更新］ボタンをクリックします。
6. ［デバイスドライバのアップグレードウィザードの開始］画面が表示されたら、［次へ］ボタンをクリックします。
7. ［このデバイスの既知のドライバを表示して、その一覧から選択する］を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。
8. 付属のユーティリティCDをパソコンにセットし、[ディスク使用]ボタンをクリックします。
9. [配布ファイルのコピー元]にユーティリティCDをセットしたドライブのドライブ名（ 例 E:￥ ）を入力し、［OK］ボタンをクリックします。
10. ［モデル］に表示されたモニター名から「BUFFALO INC.＜製品名＞」を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。
   ＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります。
11. 「次のハードウェアドライバをインストールします」と表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。
12. ［デジタル署名が見つかりませんでした］というダイアログが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。
   ※このドライバの動作テストは弊社にて行っています。2005年10月現在、本ソフトウェアにはデジタル署名が付けられていませんが、製品は正しく動作します。
13. ［完了］ボタンをクリックします。
14. ［閉じる］ボタンをクリックし、［プロパティ］を閉じます。
15. [OK］ボタンをクリックし、［画面のプロパティ］ウィンドウを閉じます。
16. [OK］ボタンをクリックし、［画面のプロパティ］を閉じます。

以上でインストールは完了です。

Windows Me/98/95を使用しているとき

※「CyberTrio-NX」がインストールされているPC98-NXシリーズを使用しているときは、「アドバンストモード」になっていることを確認してください。「CyberTrio-NX」のモードがアドバンストモードになっていないと、本製品の設定や確認ができないことがあります。詳しくは、パソコン本体のマニュアルを参照してください。

※Windows95ではバージョンによって手順が一部異なります。次の手順で事前にバージョンを確認してください。

① ［ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ］アイコンにマウスのカーソルを合わせ、右ボタンをクリックします。
② 表示されたメニューの［ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ］をクリックします。
③ ［ｼｽﾃﾑ:］に表示された文字列を確認します。この文字列がバージョンを表します。

バージョンは、4.00.950 / 4.00.950a / 4.00.950 B / 4.00.950 C の4種類あります。

1. ［コントロール パネル］を開き、［画面］アイコンをダブルクリックします。
2. ［設定］タブ（Windows95では［ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの詳細］タブ）をクリックします。

   Windows95（4.00.950/4.00.950a）の場合
   ①［ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの変更］ボタンをクリックします。
   ②［ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲの種類］の［変更］ボタンをクリックします。

   WindowsMe、98、95（4.00.950 B/4.00.950 C）の場合
   ①［詳細］ボタンをクリックします。
   ②［モニター］タブをクリックします。
   ③［変更］ボタンをクリックします。
3. 付属のユーティリティCDをパソコンにセットします。
4. ［ディスク使用］ボタンをクリックします。
5. ［参照］ボタンをクリックします。
6. ユーティリティCDの中にある w2023ads.inf ファイルを選択し、［OK］ボタンをクリックします。
7. ［配布ファイルのコピー元］を確認して［OK］ボタンをクリックします。
8. ［モデル(L)］に表示されたモニター名から「BUFFALO INC.＜製品名＞」を選択して［OK］ボタンをクリックします（＜製品名＞には、お求め頂いた製品名が入ります）。

以上でインストールは完了です。

WindowsNT、Windows3.1/DOS、Macintoshを使用しているとき

WindowsNT、Windows3.1/DOS、Macintoshを使用している場合は、ハードウェア情報の登録作業(インストール)は不要です。

電子マニュアルを見るには

ユーティリティCDにはユーザーズマニュアル(PDFファイル)が収録されています。詳しい使いかた(OSD画面調整メニュー、困ったときはなど)はユーザーズマニュアルを参照ください。

< 参照方法 >
ユーティリティCDの中にあるmanual.pdfファイルをダブルクリックすると表示されます。

※PDFファイルを開くには、Acrobat Readerがインストールされている必要があります。ユーティリティCD内の［ar505jpn.exe］アイコンをダブルクリックするとインストールできます。Acrobat Readerの使いかたは、Acrobat Readerのメニュー［ヘルプ］-［Readerのヘルプ］を選択し、ヘルプを参照してください。画面上で見づらいときは、紙に印刷してお読みください。

製品仕様

		FTD-W2023ADS
パネル		20.1Wide型カラーTFT液晶
最大解像度		WSXGA+サイズ（1680×1050ドット）
表示面積		433.44(H)×270.90(V)mm
ドットピッチ		0.258(H)×0.258(V)mm
最大色数		1677万色
平均輝度		300cd/m²
平均コントラスト比		800：1
平均視野角度		上88° 下88° 左 88° 右 88°
入力信号	VGA	アナログRGB(0.7Vp-p/75Ω) セパレート同期信号(TTL) デジタルRGB DVI準拠
	音声	最大1Vrms
端子	VGA入力	D-sub 15ピンコネクタ（ミニ）、DVI-D24ピンコネクタ
	音声入力	φ3.5mmステレオミニジャック
DDC		DDC 2B
電源		100〜240V AC±10% 50/60Hz
最大消費電力		65W（省電力モード時：2W以下）
スピーカー		出力3.0W（最大）×2
外形寸法		474(W)×433(H)×220(D) mm
重量		6.3kg
動作環境		温度 10〜35℃ 湿度 結露無きこと

※D-sub15ピン（3列）アナログRGBコネクタ、DVI-D24ピンデジタルRGBコネクタを装備していない機種で本製品を使用するときは、市販の変換コネクタを別途用意してください。

※最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

対応表示モード

ビデオ信号	解像度	ﾄﾞｯﾄｸﾛｯｸ(MHz)	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)
VGA	640×350	25.2	31.5	70
VGA(PC-98)	640×400	25.2	31.5	70
VGA	720×400	28.3	31.5	70
VESA VGA	640×480	25.2	31.5	60
		31.5	37.9	72
		31.5	37.5	75
VESA SVGA	800×600	36.0	35.2	56
		40.0	37.9	60
		50.0	48.1	72
		49.5	46.9	75
VESA XGA	1024×768	65.0	48.4	60
		75.0	56.5	70
		78.8	60.0	75
XGA	1024×768	78.4	57.7	72
WXGA	1280×768	79.5	47.8	60
		102.3	60.3	75
	1360×768	85.5	47.7	60
VESA	1152×864	108.0	67.5	75
	1280×720	74.2	45.0	60
	1280×960	108.0	60.0	60
VESA SXGA	1280×1024	108.0	63.9	60
		135.0	79.9	75
SXGA	1280×1024	124.9	74.4	70
		134.6	77.9	72
	1440×900	106.5	55.9	60
		136.75	70.6	75
UXGA	1600×1200	162	75.0	60
WSXGA+	1680×1050	146.25	65.3	60
MAC13″ MODE	640×480	30.2	35.0	67
MAC16″ MODE	832×624	57.3	49.7	75
MAC19″ MODE	1024×768	80.0	60.2	75
MAC21″ MODE	1152×870	100.0	68.7	75

※1680×1050ドット/60Hzでの使用をおすすめします。
※上記以外の信号でも表示できることがあります。
※上記の信号でも、最適な画面表示を得るためには調整が必要です。
※MacintoshではD-sub15ピン(ミニ)コネクタまたはDVI-D24ピンコネクタを搭載している必要があります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
ラジオやテレビジョン受信機（以下、テレビ）などの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチをいったん切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常に回復するようでしたら、以後は次の方法を組み合わせて受信障害を防止してください。
・本機と、ラジオやテレビ双方の向きを変えてみる
・本機と、ラジオやテレビ双方の距離を離してみる
・この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる

本製品の規格に関して
弊社は、国際エネルギースタープログラムへの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

ENERGY STAR

お問い合わせ・修理窓口・備品販売窓口

お問い合わせ・修理窓口・添付品の販売については、以下の順にてご確認いただきますようお願い致します。
マニュアル（印刷物、添付 CD 等）の設定内容・困ったときは（Q&A）をご確認ください。

弊社ホームページにて**最新 Q&A 情報、最新ドライバ・ファームウェア**をご確認ください。
サポート情報 **86886.jp**（ハローバッファロー）（http://www 不要）

上記で改善しない場合は、**バッファローサポートセンター**へお問い合わせください。
お問い合わせの際は、以下「必要な情報」③〜⑦をあらかじめご確認ください。

インターネット(E メール)でのお問い合わせ先
Webサポート 86886.jp/mail/（http://www不要） ※左記 URL から画面に従って進み、表示されるお問合せフォームより質問をお送りください。

電話でのお問い合わせ先 ※電話番号はお掛け間違いのないようにご注意ください。

- 東京第1センター **03−5781−7260** 月〜土 9:30 〜 19:00
- 東京第2センター **03−5365−3101** 日〜土 9:30 〜 19:00
- IP 電話[*1] **050−3101−0084** 月〜土 9:30 〜 19:00
- 名古屋 **052−619−1188** 月〜金（祝日除く）9:30 〜 17:00

*1 NTT 固定電話からは全国一律 11.34 円 /3 分で利用可能。（注）営業日は、上記のほか年末年始、法定点検日など休業する場合があります。

手紙でのお問い合わせ先
〒457-8570 名古屋市南区豊田 3-3-5 （株)バッファロー サポートセンター宛

修理は以下の**バッファロー修理センター**までご依頼ください。※修理品送付の前に弊社への連絡は不要です。

保証書について	修理送付前に本製品添付の保証書記載の保証契約約款をよくお読み下さい。
修理 web 予約	弊社ホームページより修理の web 予約、受付けた修理品の状況確認が可能です。 **86886.jp/shuri/**（http://www 不要）
送付先住所	〒457−8570 愛知県名古屋市南区豊田 3−3−5 株式会社バッファロー修理センター受付宛
電話番号	**052−698−7330** ※ご依頼の修理品に関するお問合せのみ承っております。 月〜金（祝日を除く） 9:30 〜 12:00 13:00 〜 17:00
送付いただく物	本製品、本製品付属品、保証書（原本）、修理依頼票（*） * 修理依頼票は弊社ホームページよりダウンロード可能です。修理依頼票を添付できない場合は、以下「必要な情報」を記載した資料を製品と一緒にお送りください。

【注意事項】
※発送は宅配便等控えが残る方法にてお送りください。控えが残らない郵送は固くお断りします。
※修理依頼時の送料は、送り主様の負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故においては、弊社は責任を負いかねます。輸送会社に保証していただくなどの措置をお取りください。
※ハードディスク、フラッシュメモリ等の記憶装置内のデータは保証できませんので、修理に送付される前に予めお客様にてバックアップをとっていただきますようお願いします。
※AirStation、BroadStation、LinkStation、TeraStation は、修理の際に出荷時の状態に戻す為、設定内容(接続ユーザ名 / パスワード / 無線暗号キー(WEP)等)を消去しますので、ご送付前に必ず設定内容を控えてください。
※修理期間は、製品の到着後 10 日程度（弊社営業日数）を予定しております。
※修理させていただいた製品の保証期間は、元の保証期間の終了日又は、修理完了日より 3 ヶ月間のいずれか長い方となります。

製品の添付品販売(一部)、ダウンロード(ドライバ・ファームウェアなど)の代行サービス(有料)は下記のページをご覧ください。
添付品の販売(備品販売窓口)ページ **86886.jp/bihin/**（http://www 不要）

ユーザ登録はこちらのページ **86886.jp/user/**（http://www 不要)より登録いただけます。

必要な情報

①返送先（氏名・住所・電話番号（内線）・FAX番号）
②平日昼間の連絡先
（氏名・住所・電話番号（内線）・FAX番号）
③バッファロー製品名
④バッファロー製品のシリアルナンバー
⑤具体的な症状／エラーメッセージ
⑥発生状況（初めから・ある日突然等）、
発生頻度（必ず、時々、時間が経つと等）
⑦ご使用環境（パソコン機種名、OS（Windows XP等）、周辺機器）
⑧製品以外の添付品（ACアダプタ、ケーブルなど）

※受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は、弊社ホームページでご確認ください。
※This product supports only Japanese language.
Technical and customer support is limited to Japan only.
This product supports Japanese language Operating Systems ONLY.

弊社へご提供の個人情報は次の目的のみに使用し、お客様の同意なく第三者への開示は致しません。
・お問合せに関する連絡・製品向上の為のアンケート（サポートセンター）・添付品の販売業務（備品販売窓口）
・製品返送/詳細症状の確認/見積確認/品質向上の為の返送後の動作状況確認（修理センター）

＊弊社では、本製品の補修用部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造終了後5年間保有しています(弊社品質基準に適合した相当部品を含む)。保有期間が過ぎても故障箇所によっては修理可能なことがあります。詳しくはバッファローサポートセンターまでご相談ください。